

JIS

ブロックゲージ

JIS B 7506 : 2004

(JMA)

(2008 確認)

平成 16 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 計測計量技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	梶 村 皓 二	財団法人機械振興協会
(委員)	石 崎 法 夫	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	井 戸 一 朗	社団法人日本電気計測器工業会
	伊 藤 尚 美	社団法人日本計量機器工業連合会
	大 園 成 夫	東京電機大学
	岡 路 正 博	独立行政法人産業技術総合研究所
	荻 谷 道 郎	株式会社ニコン
	河 野 嗣 男	東京都立科学技術大学名誉教授
	高 辻 乗 雄	日本精密測定機器工業会
	竹 本 和 彦	環境省

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.5.25 改正：平成 16.3.20

官 報 公 示：平成 16.3.22

原 案 作 成 者：日本精密測定機器工業会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 3 丁目 14-2 榎木ビル TEL 03-3434-9557)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：計測計量技術専門委員会 (委員長 梶村 皓二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本精密測定機器工業会（JMA）から工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 7506:1997** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 3650:1998, Geometrical Product Specifications (GPS)－Length standards－Gauge blocks** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS B 7506 には、次に示す附属書がある。

附属書 A（参考）ブロックゲージの比較測定装置の例

附属書 B（参考）GPS マトリックスにおける関係

附属書 C（参考）参考文献

附属書 1（規定）ブロックゲージの附属品

附属書 2（参考）ブロックゲージの呼び寸法及びセット（組合せ）

附属書 3（参考）ブロックゲージの材料

附属書 4（参考）光波干渉測定用波長標準としての放射

附属書 5（参考）**JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義及び記号	2
4. 名称	4
5. 等級	4
6. 精度	4
6.1 概要	4
6.2 寸法許容差	4
6.3 寸法許容差幅	5
6.4 測定面の平面度	5
6.5 測定面の密着性	6
7. 形状・寸法	6
7.1 断面寸法	6
7.2 りょう	6
7.3 側面の平面度公差及び平行度公差	6
7.4 側面の直角度公差	6
7.5 継ぎ足し用の穴	7
8. 材質	7
8.1 材料	7
8.2 熱膨張係数	7
8.3 硬さ	7
8.4 寸法の安定度	7
9. 測定の基礎、トレーサビリティ及び標準状態	8
9.1 長さの単位：メートル（参考）	8
9.2 ブロックゲージの寸法のトレーサビリティ（参考）	8
9.3 標準状態	8
9.4 ブロックゲージの標準姿勢	8
10. ブロックゲージの校正	8
10.1 光波干渉計による測定	8
10.2 比較測定	9
10.3 密着試験	10
11. 製品の呼び方	10
12. 表示	10
12.1 表示事項	10

12.2 支持位置の表示	11
12.3 等級の表示	11
12.4 寸法検査表及び等級検査表	11
附属書 A (参考) ブロックゲージの比較測定装置の例	12
附属書 B (参考) GPS マトリックスにおける関係	15
附属書 C (参考) 参考文献	16
附属書 1 (規定) ブロックゲージの附属品	17
附属書 2 (参考) ブロックゲージの呼び寸法及びセット (組合せ)	21
附属書 3 (参考) ブロックゲージの材料	23
附属書 4 (参考) 光波干渉測定用波長標準としての放射	24
附属書 5 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	26
解 説	31

白 紙

ブロックゲージ

Gauge blocks

序文 この規格は、1998年に第1版として発行されたISO 3650:1998 Geometrical Product Specifications (GPS) —Length standards—Gauge blocksを元に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格に規定されていない項目を日本工業規格として追加している。その主な内容は次のとおりである。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはないか、又は追加をした事項である。変更の一覧表をその説明を付けて**附属書5**（参考）に示す。

- a) 標準状態：標準水蒸気圧及び標準二酸化炭素含有率
- b) 光波干渉測定における補正項目：二酸化炭素含有率
- c) ブロックゲージの寸法検査表又は等級検査表

- 1. 適用範囲** この規格は、呼び寸法 0.5 mm 以上 1 000 mm 以下の長方形断面をもつ、等級が K 級, 0 級, 1 級及び 2 級のブロックゲージについて規定する。

なお、ブロックゲージの附属品については、**附属書1**で規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 3650:1998, Geometrical Product Specifications (GPS)—Length standards—Gauge blocks (MOD)

- 2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格を引用することによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0021 製品の幾何特性仕様(GPS)－幾何公差表示方式－形状、姿勢、位置及び振れの公差表示方式

備考 ISO/DIS 1101:1996 Geometrical Product Specifications (GPS) — Geometrical tolerancing — Tolerancing of form, orientation, location and run-out が、この規格と一致している。

JIS B 0641-1 製品の幾何特性仕様(GPS)－製品及び測定装置の測定による検査－第1部：仕様に対する合否判定基準

備考 ISO 14253-1:1998 Geometrical Product Specifications (GPS)—Inspection by measurement of workpieces and measuring equipment — Part 1: Decision rules for proving conformance or non-conformance with specifications が、この規格と一致している。

JIS Z 2244 ビッカース硬さ試験－試験方法